

平成 28 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	5
--------	---

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 有				
事務事業名	リサイクル活動推進事業					
予算科目	4 款 3 項 1 目					
予算事業名	リサイクル活動推進事業					
総合計画での位置づけ	住みよい生活環境をつくる					
担当課	町民生活課	担当課長	森 裕子			
事業担当者	八丁 由香		一次評価者	安川 和滋		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	容器包装リサイクル法、家電リサイクル法					
事業の対象	町内で排出される資源ごみなど					
事業の目的	廃棄される資源ごみを回収し再利用することで資源を有効に活用する。 町民の皆様に積極的に分別回収を行っていただく。					
実施期間	開始年度	平成 12 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	正しい分別収集を行うため、各地区にリサイクル推進委員を配置し、指導を行ってもらう。 また、資源物集団収集奨励金を出すことで、資源物回収の促進を図る。					
目的達成の指標	再生利用率＝(直接資源化量＋中間処理後再生利用量＋集団回収量) ／(ごみ排出量＋集団回収量)×100 ※再生利用率とはリサイクル率とも呼ばれ、ごみに占める資源ごみの割合					
	区分年度	単位	27 年度	28 年度	29 年度	年度
	目標	%	5	5	10.5	
	実績	%	10.4	9.5		
指標設定の考え方	平成28年度は平成27年度の1%減であったが、平成29年度は平成28年度の1%増を目指す。					
事業遂行時懸案事項等	分別の方法の徹底					
事業実施時懸案事項対応等	リサイクル推進員さんからの質問・意見・要望にすみやかに対応を行った。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 812 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		27 年度予算	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算
事務量	① 人工数	0.20	0.20	0.20	0.20
	② 人件費単価	6,701	7,289	7,381	7,381
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	1,340	1,457	1,476	1,476
事業費	直接事業費	5,416	5,416	5,447	5,447
	人件費	1,340	1,457	1,476	1,476
	合 計	6,756	6,873	6,923	6,923
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	6,756	6,873	6,923	6,923
	合 計	6,756	6,873	6,923	6,923

事業費計画

(千円)

区分/年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
目 標	5,416	5,416	5,447	5,447	5,447
実 績	4,781	4,456			

事業活動の実績(活動指標)

項目	単位	27 年度予算	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算
リサイクル推進委員報酬	円	315,000	318,000	332,000	332,000
資源ごみ収集委託料	円	3,693,405	3,704,942	3,977,000	3,977,000
資源物集団収集奨励金	円	540,210	432,660	736,000	736,000
資源物倉庫設置費	円	232,200	0	402,000	402,000

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 674 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		27 年度決算	28 年度予算	28 年度決算	
事務量	① 人工数	0.20	0.20	0.20	
	② 人件費単価	6,701	7,289	6,768	
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	1,340	1,457	1,353	
事業費	直接事業費	4,781	5,416	4,456	
	人件費	1,340	1,457	1,353	
	合 計	6,121	6,873	5,809	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	6,121	6,873	5,809	
	合 計	6,121	6,873	5,809	

実施備忘録

CHECK(評価)

自己評価	評価者	八丁 由香
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	C
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	C
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	C
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	C
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他



4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

リサイクル推進委員さん・地域の方々の協力のもと、リサイクル推進活動が適切に行われている。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

資源ごみ回収の拡大と家電リサイクル回収体制の構築

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	安川 和滋
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	C
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	C
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	C
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	C
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

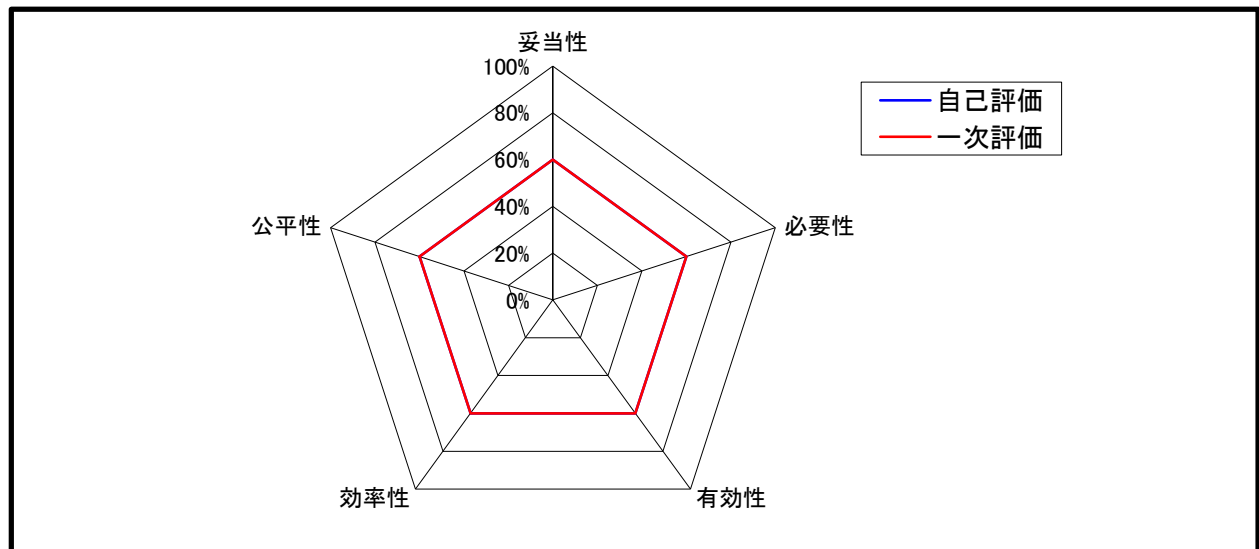
見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他



一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

人口も増加しつつあり、ゴミの量も増加する傾向にあり、今後もリサイクル推進委員と協力体制をとり、ゴミの減量化及びリサイクル化を図る。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	森 裕子
------	-----	------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

リサイクル活動は今や常識となっており、ごみ減量や住民のリサイクル活動を望む期待に応える責任がある。今後事業所等にも更なる協力を依頼したり、リサイクル品目を増やしたり、回収方法等も研究していく必要性を感じる。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
 月 日
 までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
 月 日
 開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	指標の見直し。広報啓発活動の強化。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・達成指標については、提案にある一人当たりの処分費を指標にすることは、処分費の単価が変わることにより経年比較ができないため、環境省の示す再生利用率(リサイクル率)＝ごみに占める資源ごみの割合が良いと思われる。分かりやすいように表記をリサイクル率に変える。 ・活動指標には不適切なごみ出し件数を追加する。 ・広報にて、より一層一般ごみと資源ごみの違いを分かりやすく説明し、リサイクル活動推進を呼びかける。

外部評価

今後の方向性 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	見直しの具体的内容 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他	評価 A

外部評価委員の意見

事業自体は今後も継続していくべきだと考える。各団体における回収や集団回収の量が減ってきている傾向にある中で、リサイクル率が上昇傾向にあることは評価すべきである。ただし、指標等については、住民一人当たりの住民税等の充当率にて経年比較する等考えるのがよいのではないかと。また、不適切なごみ出し件数についても、指標として提示することを検討されたい。さらに、広報により一層一般ごみと資源ごみの違いを分かりやすく説明し、啓発強化すべきである。

経営者会議

経営者評価者	町長	
今後の方向性 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	見直しの具体的内容 <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他	評価 A

経営者会議の評価

リサイクル推進事業については、今後も町として進めていかなければならない事業である。リサイクルに関する意識自体は町民全体にも定着しつつあると感じている。今後はリサイクルできる資源ごみの種類についてもっと分かりやすい方法で周知していくこと。また、成果指標と活動指標について再度確認を行うこと。